

CONTENTS

- 第9回G・M賞 受賞者決まる(2面)
- 滝井高バレー、フェンシングが 全国大会へ(5面)
- 東西線開通で大阪国際大 都心に接近(6面)

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園広報室
〒570守口市藤田町6-21-57
06(902)0787(代) FAX06(902)8961

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

花冷え、花曇り、花嵐、花吹雪、花明かり、花合わせ、花便り―古来、日本人がいかにサクラに親しんできたかを物語ることばの数々。そのあまりに、こんな詠み方もあった。―世中にたえてさくらのみならず―は春の心はのどけからまし―(古今和歌集 在原業平朝臣)▽業平が諸院(枚方市)でその美しさに心をゆだねたサクラとは、もちろん染井吉野ではない。ヨシノザクラとも呼ばれるこのサクラは、せいぜい世紀余前に東京で生み出された。寿命は短い成長がはやく、何よりも葉が出る前に開花し、その美しさ故にたちまち、全国制覇。▽その豪華絢爛さは捨てがたいが、山里に凛とそびえるヤマザクラの、個性あふれる清楚さこそ好ましい。新入生たちも、一人ひとりが個性的に輝いてもらいたい(む)

総勢2427名迎える

大阪国際学園 入学式・入園式



学園のトップを切って行われた国際大の入学宣誓式。野外ステージは新入生、保護者でぎっしり埋まった

自らキャンパスを彩った新入生たち

ことしは桜の開花がはやく、満開の桜が新入生を連日祝福してくれるかに思えた。しかし、式当日の多くはあいにくの空模様。それでも大学から幼稚園までの新入生たちの瞳は一樣に光り輝き、キャンパスに自ら満開の花を咲かせた。この春学園に迎えた新しい顔は総計2427名、さあ充実のキャンパスライフを―。

ことしも野外ステージを舞台に

大阪国際大

国際大の入学宣誓式は4月2日、野外ステージで行われ、スーツ姿の新入生や保護者らで約8000席ある円形ステージはぎっしり埋まった。

枚方市の中司 宏市長を初めて迎えるなか、川又良也学長が式辞で「高校に比べて大学では、何ごとにつけ諸君の自主的・自発的行動を期待している」と励ました。当日はどんよりとした空模様だったが、幸い最後まで野外で催すことができた。

7日には学友会本部主催のオリエンテーションが実施され、3号館大講義室で学友会総会とクラ

紹介があり、そのあと体育館に場所を移して歓迎会が行われた。また、毎年好評のフレッシュマンキャンプも実施され、経営情報学部は、フレッシュマンデー・キャンプと題し4月24日に四条畷市の緑の文化園、25日は国際大で実施。政経学部は24、25日に1泊でホテルグリーンプラザ東条湖(兵庫県加東郡)へ出かけ、それぞれゼミ対抗スポーツ大会やミーティングなどで交流を深めた。

国際コミュニケーション学科

・スポーツ行動学科の1期生を迎える(女子大)

女子大・短大では4月3日、奥田メモリアルホールで入学宣誓式が行われた。女子大は今年度から開設された国際コミュニケーション学科とスポーツ行動学科の第1期生が入学。入学者数はコミュニケーション学科98名、国際コミュニケーション学科224名、人間健康科学科106名、スポーツ行動学科109名、編入学生30名の計567名。

人間健康科学科の小和瀬司さんと留学生の王 暉さん(中国出身)が代表で宣誓を行った。次いで三木正伸学長のことは「あり、大学はアメニティ広場ではない。厳しい愛情を注ぐので、我々を信じて最後までついてきて下さい」と激励した。

女子大のあと短大の入学宣誓式が引き続き行われた。毎年2



今年度から国際コミュニケーション学科とスポーツ行動学科が加わった女子大の入学宣誓式

大阪国際女子大・短大

回に分けて行われていたのが、今年度から英語科の募集停止で入学生員が少なくなったこともあり、一度に行われた。入学者数は家政科170名(生活文化コース131、栄養士コース39)、幼児教育科177名(保育コース114、音楽コース38、体育コース25)、国際文化学科286名(国際ビジネスコース175、情報ビジネスコース111)の計633名。国際文化学科の谷山律子さんと留学生のリサ・オニールさん(オーストラリア出身)が代表で宣誓。最後に女子大・短大とも林 泉弦楽四重奏団による祝曲演奏で幕を閉じた。

入学宣誓式の前日の新入生登壇日には、学友会クラブ紹介が同メモリアルホールで行われ、各クラブが舞台でデモンストレーションを繰り広げた。また、4月8

奥田吾朗理事長は、国際大や女子大・短大入学式をはじめ、滝井高校、大和田中・高校の入学式さらに幼稚園入園式のすべてに出席。新入生やその保護者を祝福するとともに歓迎のことばを述べ、「あなたたちがそれぞれの学校の歴史を築く主人公です」と今後の活躍ぶりに大きな期待を寄せた。

卒業記念贈呈(女子大・短大、国際大)

女子大・短大では、平成8年度卒業生からソメイヨシノ2本が卒業記念として贈呈され、記念植樹が3月14日、5号館南側において行われた。植樹には学友会の井上真紀子会長(女子大人間健康科学科3回生)が、代表で立ち会った。

また、国際大の卒業生からはブレハプレゼント「張が、卒業記念として贈呈された。

第9回グローバルマインド賞決定

グランプリ賞に川岸弘実さん(福井高)

NGOの体験「マッチ売りの少女達へ」

第9回を迎えた「グローバルマインド賞」(大阪国際学園・毎日新聞社共催)は先の学報(第13号)で報じたように958編の応募作品があり、前回の376編を2倍強も上回る数字となった。

3度の学内審査を経た10編の作品が12月11日、梅棹忠夫氏(国立民族学博物館顧問)、大島靖氏(大阪国際交流センター会長)、岡本道雄氏(国際高等研究所理事長)、森 毅氏(京都大学名誉教授)の先生方による最終審査が行われた。

まず審査委員の目をひいたのは、川岸弘実さんの「マッチ売りの少女達へ」。川岸さんはNGO(非政府機関)のひとつ「シャプラーニ」の研修旅行先のパングラデッシュで、恵みを求めて手を出す子供たちに囲まれた時



グローバルマインド賞審査風景(右から森 毅氏、大島 靖氏、岡本道雄氏、梅棹忠夫氏)

に受けた感情を基に、本当の国際交流のあり方を考察。「その手に簡単にお金を乗せてあげたとして、彼らは本当に幸せになれたのか」と安易な施しに疑問を抱いた事や、別のNGOが主催したハンガーバンケット

【グランプリ】

川岸 弘実(福井県立藤島高等学校1年)

「マッチ売りの少女達へ」

【準グランプリ】

神山 織江(栃木県立宇都宮女子高等学校2年)

「タイからの贈り物」

【毎日新聞社賞】

有馬さや香(福岡県立門司高等学校2年)

「笑顔を通じて」

【佳作】

富田 真弓(京都私立立命館高等学校3年)

「集団主義の日本人」

藤原 彩(神奈川県立横浜学院女子高等学校2年)

「肌の色って何なのだろう」

橋本 雅江(大阪私立大阪国際大和田高等学校3年)

「私の夢」

田中 幸恵(静岡私立浜松海の星高等学校2年)

「世界人になりたい」

中間華奈子(鹿児島私立川内純心女子高等学校3年)

「心と心の交流を大切に」

平沼依里子(愛知私立津島女子高等学校3年)

「コスモポリタンとして生きる」

長谷川景子(福井県立藤島高等学校2年)

【学校賞】

神奈川私立横浜学院女子高等学校

で見た焼き畑を切り口に、先進国特有であろうと思っていた環境破壊が、実は開発途上国の方が深刻であり、その原因となっているのが、現在の私たちの快適な生活である事にショックを受けた。

ハーバーギヤル・カレッジ

100余年の歴史誇り各界に著名人

カナダ・トロント市北部の高級住宅街の中心に、22エーカーに及ぶ校地とツタのからんで歴史を感じさせる美しい校舎を持つハーバーギヤル・カレッジは、高いレベルの女子中等教育を指して1894年に創立された私立女子学校です。この学校と大阪国際



自由で伸び伸びした校風、充実した教育設備が整う名門ハーバーギヤル・カレッジ

滝井高等学校が姉妹校提携したのは1993年4月28日、奥田省吾前理事長と徳山順一前校長が出席して現地で調印した。

ハーバーギヤル校の理事長、校長先生以下学校のスタッフの大部分は女性で、100年の歴史が証明するように自由と規律、創造力と自立力を持った女性を育て続けています。自宅通学者のほか地方出身者のための寄宿舎もあり、寄宿舎では生徒の委員会によって自治制度が保たれています。

幼稚園から小学部、中・高等学部までの一貫教育が原則で、受け、本当の意味での国際交流問題を考えるようになったと述べ、さらに有馬さや香さんの「笑顔を通じて」は、ケニアで出会った子供たちとの触れ合いの中から、物質的な豊かさではなく、心の豊かさが大切であると痛感。ボランティアの意味を履き違えていた自分に気づき、「少しでもあなたの国の力になりたい」という心を持ち続けていきたいと語っている。

この3作品に対し、審査委員からは「国際協力は、単にお金の援助だけでなく、その国の人たちが自立できるように支援していく」という国際協力の本質をよくつかんでおり、論点もしっかりしている」として川岸さんの作品にグランプリ賞が、そして「環境問題に視点を置き、国際協力へ発展させた作品は本コンクールでは初めて」という点が評価された神山さんに準グランプリ賞が、有馬さんには毎日新聞社賞がそれぞれ選ばれた。



日本に来て感じたこと

大阪国際女子大学
外国人特別科目等履修生
金 春子(チン チュンツ)

昨年の9月から科目等履修生として大阪国際女子大学で1年間勉強することになりました。この数ヶ月間の体験で、テレビ、書物などで見てきたのと、実際にこの足で行き、この目で見、音、流れ、空気、匂いを身体全体で感じ、味わうのとはかなりの差があると思いました。

例えば日本に来る前は日本の町には着物を来ている人が結構いると思ったんですけど、それが珍しいことだと知りました。でも一番印象深かったこと、感心したこと、日本のよさが感じられることはサービスの質の高さです。銀行とか郵便局、デパート、商売している店の職員と店員達の親切さから、「お客さんは神様」であることがしみじみ感じられます。お客さんを困らせること、だますことはぜんぜんないばかりか、お客さんの無理な要求もできる限り満足させてくれたりします。いつも笑顔で自分の仕事に責任を持って頑張っている職員、店員様に感謝の気持ちでいっぱいです。これに対して中国ではほとんど物物からの、損しても給料はいつも同じだからとお客さんに対する親切さが足りないんじゃないかと思う。だから、特にこうした点は日本に習うべきだと思っています。

(96年9月入学、中国・遼寧師範大学からの留学生)

留学生レポート

オーストラリアで過ごして

大阪国際大和田高校3年
諏訪 沙織

私が行ったオーストラリアのジーロン・グラマースクールは、留学生の受け入れが多く、そのせいか大和田高校からの短期留学生が増えるぐらいに感じたことはないような感じでした。日本の学校がするような歓迎パーティーや、私達だけの特別なスケジュールもありませんでした。

3人も別々の寮に入り、学校のきまりも寮のきまりも分からないまま、オーストラリアでの生活がはじまりました。次の日から早速、ホストステューデントのクラスに入って授業をうけました。と言っても、授業どころか英語も理解できず、分からない事だらけですぐホームシックにかかりました。でも、だんだん友達もでき、分からない事はどんどん聞くようにしました。

もともとその学校に通っている日本人の人も何人かいて、友達になり色々教えてもらいました。でも絶対向こうから色々教えてくれるということではなく、自分で話しかけないと友達ではなかったと思います。最初は冷たいとも思いましたが、本当はそうではなく、そういう風に接してくれたので、私も色々学べたと思います。寮生活最後の日、寮生の寄せ書きをしたくまのぬいぐるみくれました。そこでもオーストラリアの温かさを感じられ、1ヶ月間本当にいい経験ができたと思います。

(96年3月9日から4月6日までオーストラリアのジーロン・グラマースクールへ派遣)



直言

女子大生興國時代
高橋新編大阪
本社編集委員
音田昌子

先日、ある雑誌の広告を見ていたら、「女子大生興國論」という表題が目にとまり、時代の流れを痛感しました。

東京の某大学の教授が「女子大生亡国論」を発表して話題になったのは、今から二十数年前のこと。全国的に女子大生の数が急増している時でした。なぜ国が減るのか、先生の言ひ分はこう。このまま女子学生が増え続けられ

今に日本の大学は女子学生に占領される。ところが、女子学生は卒業して就職しても、たいして四、五年で結婚して家庭に入ってしまう。それではせっかく国が投資したお金も社会に還元できず、ひいては国が減るものになると。この発言に、当時大学に在学中だった私たちは大憤慨。そんなことを言わせてなるものか。私たちは結婚しても絶対に仕事をやめないゾと、固く心に誓ったのを覚えています。今の女子大生には、そんな

ソフトボール部率いて27年 全国大会出場4回



「厳しいが信望あつい」杉浦監督

大阪国際大稲田
高等学校教諭
杉浦進氏

「情熱に圧倒され、指導を全面的に信頼」と部員

大阪府下では強豪で知られる大和田高校ソフトボール部。その監督を務めているのが教師生活34年目を迎えるベテラン、杉浦進教諭。途中6年間は除く27年間にわたって指揮をとり、これまでインターハイ、全国選抜大会に2度ずつ出場、インターハイは2度ともベスト8、また全国選抜大会では初出場ながら3位と数々の輝かしい成績を残

している。残念ながら昨夏のインターハイ予選には決勝リーグまで進みながら惜しくも敗れ、姉妹校の大阪国際滝井高校が初出場。杉浦監督は「同高校はバレーボール部やフエンスン部は全国的に強豪で知られているが、ソフトボール部も刺激されて近年メキメキ力をつけ、インターハイ出場にこぎつけた。お互い競い

合ってレベルアップにつなげた」と語る。インターハイ出場は逃したものの昨年夏、大阪ソフトボール協会から大阪選抜チーム「ソフトボール少年少女の部」の監督に選出され、国体出場を目指した。惜しくも近畿予選で敗れたものの初選抜チーム監督に「大役を任せられて荷が重かった。しかし貴重な経験をさせてもらい、これからのチームづくりを生かしたい。」

大和田高校ソフトボール部は、現在部員18人。全国大会出場を目指して、日々練習に励んでいる。今年も「なみはや国体」が大坂で開催される。「まずは一人でも多く国体の選抜チームに選ばれてほしい」と、ふだんから厳しい練習で知られるが一層ハッパがかかる。また「どんな



「ヴァイマル自由主義の悲劇 岐路に立つ国法学者たち」 風行社(8,000円)

古賀 敬太著

大阪国際大学
政経学部 助教授

著者は既に、ヴァイマル期の憲法学者であり政治思想家でもあるカール・シュミットの研究者として有名であるが、その研究と並行して進めてきた同時期の国法学者たちについての研究を一巻に集めたのが本書であ

この本のタイトルが示すとおり、著者の一貫した眼差しは現代における自由主義の運命に注がれている。すなわち、ヴァイマル期ドイツにおいては、自由と民主主義の価値を巡って国法学者による様々な論争が行われた。著者はその中から主要な8人を選んで、この論争を概観



しつつ自由主義の問題に接近する。この時代の主流であった法実証主義のケルゼンとアンシュッツ、トーマを中央にして、それを右から批判したカウフマンとスメント、シュミット、左から批判したライプホルツとヘラーという構図がこれである。しかし、著者の関心はこうした構図を提示することよりは、これらの一連の論争の中でいかに自由主義が自らの基礎を掘り崩していったかを明らかにすることに

杉浦進氏

大阪国際大稲田
高等学校教諭

に強いチームでも敗れる。勝負は時の運、の側面も。試合では何が起るかわからない」と、勝負のこわさを知り抜いているからこそ自戒のことば。そんな監督を慕って、入部してくる生徒も多い。キャプテンの吉田明美さん(2年生)もその一人で、「正直いってすごく厳しい先生ですが、ソフトボールに賭ける情熱に圧倒され、その指導ぶりを全面的に信頼して、みんなどんな苦しい練習にもたえて頑張っています。」

3大学(短大)合同で活動の女子ラクロス部

国際大と女子大・短大が合同で活動している体育会系の女子ラクロス部が、一段とまとまりをみせてきた。

休部を救った合同化

登録は国際大チームで、ラクロスは、人気急上昇の球技である。日本へは昭和61年に伝えられた新しいスポーツで、ルールは12人(男子10人)1チーム、スティックでボールを相手ゴールにシュートして競う。平成3年に発足した国際大唯一の女子のクラブだが、女子学生の少なからず部員不足になり、休部寸前になった。そこで女子大・短大に呼びかけて一昨年4月に合同化が認められ、再出発を遂げた。学外で所属している団体、日本ラクロス協会も合同チームでの出場を正式に承認し、昨年よりリーグ戦に参加して熱戦を演じた。ただ女子大・短大の

部員が参加しているものの、ラクロス協会には大阪国際大学で登録している。現在部員は国際大5人、女子大・短大13人で、練習は月曜から金曜が各大学ごと、土曜に合同で全体練習を行っている。合同チームのキャプテンを務める国際大政経学部2年次生、原口真紀さんは「和気あいあいとしたチームだが、一緒にあった当初はさぞこたなく、練習や試合を重ねることで今日のチームにまとまった」と語る。関西学生4部リーグに所属し、実力はまだ不十分だが、まずは3部リーグ昇格を目指して、チーム一丸の練習に励んでいる。

奥田政三教育研究基金奨学生

女子大西オーストラリア大学教育学部第2外国語英語センター派遣留学生
古賀みほ(コミ2)▽伊藤友実▽加藤良子(以上コミ3)▽延廣美紀(人健3)
大和田高オーストラリア、ジローン・グラマースクール派遣留学生
甲斐田留美▽藤野和恵▽南田裕子(以上1)

資格取得者紹介
国際大
第二種情報処理技術者試験合格者
初級システムアドミニストラータ試験合格者
経情3 中西孝行▽松岡一孝▽同4 澤田英樹
女子大・短大
国内旅行業務取扱主任者試験合格者
短大国際1 桜本陽子▽佐々木直子▽中西里江▽奈良京子▽宮口依里▽同2 西村佳奈
TOEIC団体試験(11月16日実施)93人中400点以上は45人。550点以上は次の通り。
女子大コミ3 浅野都史子▽同4 佐藤菜里子▽短大英語2 大岸亜矢▽真下加奈子▽榎 康恵▽榎本 薫▽宮地 第2回英検2級合格者 10人
第27回パソコン検定3級合格者
短大国際2 田中敬子▽東野智子▽矢野智子
日商簿記検定試験3級合格者(11月17日実施)
短大政経1 兎玉佳代▽森下利恵子▽同2 高垣有理▽戸長弥生▽同国際1 大森佳子▽原山明子▽南 晃江▽同2 行定みちる
第50回秘書技能検定準1級合格者
女子大コミ3 近藤真紀▽久坂真美
同2級合格者 1179人
平成8年度秘書検定優良賞
短大政経1 仲村真澄▽同国際2 藤原幸子
滝井高校
第2回英検2級合格者
3年生 乾 里枝子▽小川恵美▽富永奈美▽横山桂子▽米田香奈▽浅見幸枝▽毛芝聖子▽高吉和代▽中村敦子▽濱西妙子
大和田高校
第2回英検2級合格者
2年生 星加理恵▽3年生 園田真理▽久保ちよ▽小川茂都美▽森川八重▽松崎友美▽玉山雅美▽岡野亜矢▽香田知子▽荒西奈那 (敬称略)



SNUC=大阪国際女子大・短大健康づくりのためのスポーツ・栄養総合センター

「しっかり食べて骨を丈夫に」

前回までの話でわかりのように、骨を強くするには運動と栄養が大切であって、若い年代から気をつける必要があります。今回は、「骨と栄養」について考えてみましょう。

成人のカルシウムの所要量は、1日600mgです。カルシウム供給源として代表的な食品は、牛乳・乳製品です。牛乳のカルシウムは、他の食品に比べ吸収が良く手とり早くカルシウムがとれます。しかし牛乳のきらいな人もいますので、いろいろな食品を組合せて食べると良いでしょう。カルシウムの吸収作用には、たんぱく質、ビタミンD、乳糖などの他の栄養素も関係します。ろな栄養素をバランスよくとることが基本となり、1日3食をしっかりと食べて、元気に運動や散歩をし、骨を丈夫にしましょう。

Caを多く含む食品(カルシウム量)

普通牛乳 1カップ(200g)	プロセスチーズ 20g	ヨーグルト(全脂肪) 1個(100g)
200mg	126mg	130mg
ごまつな 1/4個(80g)	牛乳を「毎日飲む」人は男女共に2人に1人です。	もめん豆腐 1/27(50g)
232mg		180mg
まいわし丸干 30g	しほえび 100g(50g)	わかめ(佃煮) 2g
420mg	60mg	20mg



経情4 穂谷千加

DATA 平成9年度入試結果

Table with columns for exam type (e.g., 推薦, 一般), department (e.g., 経営情報学部), and statistics (志願者数, 受験者数, 合格者数, 競争率). Includes data for various schools like 大阪国際大学 and 大和田中学校.



企業の説明を熱心に聞く学生ら(17日)女子大・短大

国際大 企業の採用姿勢に変化

今年度就職内定率はまだ発表する時期ではないが、今年1月中旬現在で、昨年同期よりも若干上回っている...

今年度は重複内定がかなり目立ち、「どちらかに決めたらよいか」とか「どのように辞退すればよいか」といった相談が、例年比べて多かった。

企業側と大学間で結ぶ就職協定が廃止された。就職戦線の前倒しや長期化は避けられないとの声はやくも出て、「超水河期」状況に比べて薄日はさしたものの、今後も厳しさは続く。

様変りか? 就職意識

女子大・短大

年度当初「今年度の就職戦線は、超水河期といわれた平成7年度より、やや明るさがみえてきた」と、新聞等はしきりに報道しました。

今年度の主な特徴は、内定数が前半に偏ったことであろう。昨年は4月から翌年3月にかけて平均して増えていきましたが、今年9月までは前年を倍する

(大阪国際大学就職室長 田中祥夫)

女子大、新設学科で明暗 厳しい現実直面の短大

一般入試をふりかえって

平成9年2月3日から2月6日にかけて、大学、短期大学の一一般入選考試験が行われた。大

率で増えたものの、10月以降は停滞し微増にとどまったことで、理由の一つは、好調だった男子の早期決定が、企業の女子求人をも早めたことにあると思われる。

(大阪国際女子大・短大 就職室長 横山恒雄)

まさに冬の時代到来

中学・小学校の児童・生徒数の激減、低成長化のもと公立指向が高まり、特に公立高と同じ学力レベルの私立女子高にとって、専願者を獲得することが極めて難しい状況となった。

専願者獲得難くなった私学女子高

(大阪国際女子大・短大 入試室長 武内一雅)

女子大、短大が初の保護者懇談会

女子大・短大の「保護者懇談会」が12月14日、本学キャンパスで開催されて約1300人の保護者が参加された。

懇談会ではインターネットを体験してもらったほか、女子大の守誠教授が「世界はどう動くか」をテーマに特別講演を行った。

懇談会には三木正伸学長▽堀江淳之助学長補佐▽黒田勝明事務部長▽徳原康彦学生部長▽横山恒雄就職室長▽女子大の高田英樹教授ら6人が、本学の運営、将来構想や教員内容の説明を行った。

【大和田中学校】 3学級90名の募集を目標に地道な募集活動を重ねた結果、1次入試69名、2次入試32名、計101名の応募者を得ることが出来た。

【大和田中学校】 3学級90名の募集を目標に地道な募集活動を重ねた結果、1次入試69名、2次入試32名、計101名の応募者を得ることが出来た。

【大和田中学校】 3学級90名の募集を目標に地道な募集活動を重ねた結果、1次入試69名、2次入試32名、計101名の応募者を得ることが出来た。



本有的知識は存在せず

大阪国際大学 川又良也学長

1988年に設立された大阪国際大学は、ようやく10年目を迎えた。本学の歴史はまだ浅いが、その分若さの溢れた大学であり、若さにふさわしい情熱をもって教職員一同、既成大学にならぬ学風と伝統を築こうと頑張っている。しかし、我々教職員の努力だけで成し得ることはなく、学生諸君が自ら学業に励み、課外行事・活動にも積極的に参加し、それぞれに実りある学生生活を送ることはじめて実現される。

れる。どうか諸君も本学にふさわしい卓越した学風とよい伝統の確立のために、努力をしていただきたい。

本学は「グローバルマインド」、すなわち世界に通じる心を持った

27年発行に当り岩波茂雄氏が述べた言葉が掲載されている。曰く、「真理は万人によって求められることを自ら欲し、芸術は万人によって愛されることを自ら望む。かつては民を愚昧ならしめるために学芸が最も狭き堂宇に閉鎖されたことがあった。今や知識と美とを特権階級の独占より奪い返すことはつねに進取的なる民衆の切実なる要求である。岩波文庫はこの要求に応じそれに励まされて生まれた。」この言葉を讀むたびに私は17、8世紀のいわゆる啓蒙思想家たちのことを思い出す。彼らは一部の人達の独占物であった知識を民衆に知らしめ、民衆がより知識を得ることによって賢明な判断ができるよう導いた。民衆はやがてフランス革命を成功させ、合理性を重んじる市民社会、近代社会への道を開いたのである。知識のもつ力の

大きいことを知るべきである。この大学はまだ物的設備の点で不十分なところはあがあるが、諸君の向学心に報いるための人的設備、つまり教職員の質は、決して有力大学のそれに劣らないと確信している。だが、高等学校に比べて大学では、何ごとにつけ諸君の自主的・自発的な行動を期待しており、諸君が積極的に求めなければ得るところは殆どないといえよう。

フランスの啓蒙思想家ヴォルテールは、「本有的な知識は存在しない。なぜならは葉と実をつけて地中から出てくる木はないからだ。本有的と呼ばれるものは何もない」といった。諸君はそれぞれに自ら努力をし、自分の業と自分の実をつけた立派な木に成長して、学窓を果立っていつくめるように切に願っている。

(4月2日の国際大入学式学長式辞要旨)

ご入学おめでとう (学長あいさつ)



大学は人生の栄養供給・鍛錬の場

大阪国際女子大・短大 三木正伸学長

大阪国際女子大学は、平成4年に人間科学部として再出発。コミュニケーション学科80名、人間健康科学科40名(入学定員)の小規模な学部でしたが、今年から2学科を増設して規模は一挙に4倍の480名に拡大し、更なる飛躍と発展を目指し、再々出発することになりました。人間科学部は沢山設置されていますが、4学科を有し、総学生数

が2,000人の規模は全国一です。

コミュニケーション学科や人間健康科学科はこの5年間、社会の強い要請や高い期待に応えて教育内容も変革し、成長をと

「日本の国際化」がより望まれる中、世界に正しく日本を伝えることのできる人を育てることを目指した「学科」であり、同じく第一期生を迎えるスポーツ行動学科は、「高いスポーツ技能者や技術者や、スポーツを通じて文化的生活への貢献者として広い舞台で活躍できる人」を育てます。人間科学部の教育体制は、これで整ったと考えています。その教育方針は、大学教育の本来あるべき姿、即ち「本物の教育」にあります。大学は、「人生の休息所」ではなく、「人生の栄養供給と鍛錬の場」です。これからの4年間、大学の教職員は「厳しい愛情」を注ぎ、4年後の成長を楽しみに真剣に専門教育や全人教育を行ってまいります。我々を信じて最後までついてきて下さい。卒業式の日「本学に入学してよかった」と喜んでもらうことを我々の喜

(4月3日の女子大入学式学長式辞要旨)

マナーよく信頼されるひとに

滝井高校



滝井高校では4月8日、10時から体育館で入学式が行われ、213名(特進コース24、国際コース41、標準コース148)が入学した。

式で奥田三郎校長は「エチケットマナーのよい、信頼されるひとになって」と呼びかけるとともに「人生で最も頭脳が柔軟なとき、さまざまなことに挑んで下さい」と祝いの言葉を贈った。

久しぶりの晴天で、桜も満開となったこの日、真新しい制服に身を包んだ新入生たちはこれから始まる高校生活の第一歩を踏み出した。

9、10日にはホテルレイクビワ(滋賀県守山市)で、1泊2日のオリエンテーションが行われ、高校生活を始めるに際しての研修をおこなった。

自らの目標達成に日々を大切に

大和田中・高校

一方同じ日、大阪国際大和田中学・高校の入学式が、午後1時から奥田メモリアルホールで行われた。会場は真新しい制服姿の



新入生や保護者で埋め尽くされた。入学者数は中学75名、高校293名(英数コース110、普通コース183)。

関 榮義校長は「自らの目標達成のために、二日を大切に。心と体を鍛え、青春を謳歌して下さい」と激励した。

新入生たちはこれから始まる中学・高校生活に、期待に胸を膨らませて退場した。

55名入園

大和田幼稚園

大阪国際大和田幼稚園では、中学・高校より一足早い4月7日に入園式が行われ、55名の園児が元気に入園した。

式では久保和男園長が園児、ご両親へお祝いの言葉を述べた。

大阪国際大 都心に接近 東西線開通

女子大の通学圏も拡大



JR東西線が3月8日、開通した。これによってJR宝塚線・神戸線と学研都市線が直結したほか、地下鉄各線や私鉄との連絡も緊密になった。学研都市線長尾駅が玄関口の大阪国際大学(OIU)にとって、東西線開通は開学(着工前年の昭和63年)以来の待望の実現。同時に電車増発などのダイヤ改正で、大阪都心部からみて郊外に位置する同大学は都心にグンと近づいたほか、宝塚線や神戸線での通学・通勤の利便は飛躍的に向上した。また京阪電鉄の大和田・萱島駅を玄関口とする大阪国際女子大・短大にとってもメリットは少なくない。宝塚線・神戸線での通学者も多く、京橋駅での乗り換えで通学時間の短縮につながった。

東西線は、学研都市線・京橋駅と宝塚線・神戸線の尼崎駅間(12.3キロ)を大半地下で結び、すべて地下の▽大阪城北詰▽大阪天満宮▽北新地▽新福島▽海老江▽御幣島▽加島の各駅が新設された。

京橋一尼崎駅間を16分で結ぶとともに学研都市線と宝塚線・神戸線を都心部で相互直通運転。さらに東西線によ

つて、多くの市営地下鉄や私鉄との乗り換えもできるようになった。さらに、大幅ダイヤ改正で学研都市線も輸送力が向上した。最も大きな改正は、朝の通勤時間帯に京橋方向行き快速電車4本が新設されたこと。都心からの本学通学生らにとってこのメリットはないが、奈良県や京都府南部に住む木津方面からの通学生らには普通電車も増発され、うれしい。デパートの快速・普通も増発され、都心と本学のキョリが近くなった。

本学学生約2,500人のうち、長尾駅利用者約1,500人。東西線開通で直接恩恵を受ける学生は多い。また大学にとっても、開学時から東西線早期実現や学研都市線の輸送力増強を要望してきただけに、大歓迎。

一方、京阪沿線に位置する大阪国際女子大・短大も東西線開通を歓迎。北摂や阪神方面からの通学者は、JRや私鉄で梅田まで出て、JR環状線を経て京橋乗り換えて大学へ。それが春からは東西線京橋から京阪京橋に乗り換えるだけとなり、大幅に利便性が高まった。

*本紙に記載の学年、冊数等は全て'96年度のもので、'97年度のものではない。ご了承ください。

*本紙は第14号の1面・6面を差し替えて発行しています。